

様式第2号（第3条関係）

## 会 議 録

会議名称	平成30年度 伊達市行政改革推進委員会（第1回）		
議 題	伊達市行政改革2017実施計画の策定について		
開催日時	平成31年2月12日（火）午後3時00分～午後3時40分		
場 所	市役所本庁舎2階会議室A		
出席者	委 員：6名（2名欠席）		
	事務局：総務部長、総務課長、総務係長、総務係員		
	所管部課名	総務部総務課	
公開 非公開 の 別	<input type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【会議の概要】

1 開会

- ◆ 事務局より、委員の辞任及び新委員の就任（各1名）について報告
- ◆ 会議成立の報告及び委員長挨拶

2 議事

（1）伊達市行政改革2017実施計画の策定について

[資料に基づき、事務局より説明]

- ◆ 今回の実施計画は、「伊達市行政改革大綱2017」に掲げる基本方針の推進に向けた具体的な実施・検討項目をとりまとめるもの
- ◆ 計画期間は第7次伊達市総合計画との整合性を確保するために平成31年度からの5年間とし、大綱も当初から2年間延長して平成35年度までに改めたい
- ◆ 大綱に掲げる4つの推進事項に沿って、市各部署で協議し洗い出した37項目を実施項目として掲載している
- ◆ 現在の行政サービスの妥当性を再検証するなど、従来の実施計画から一歩踏み込んだ内容も含まれるため、まず初年度は実態把握、課題整理、事例研究から着手をし、十分な議論を重ねた上で実行の判断をしていきたい

[質疑等]

委員長

各委員さんから一言ずつ発言をお願いします。

委員A

実施計画を見ても具体的なものが分からない。どこまでやればいいのか。

委員長

苫小牧市でも窓口の民間委託を検討しているようだ。

委員A

水道事業の民間委託も検討されるのか。

事務局

市としては、水道事業の民間委託は考えておりません。

委員長

それはそうだと思う。市の直営が安全安心だ。民間はまずは経営第一でものを考える。

今回の水道の民営化の考えのウラにはインフラ整備があり、埋設してある水道管の問題があると聞いている。

委員長

今回の行革（国）は、財政運営面からより効率化を図ることで考えている。

委員B

使用料、手数料も4年に一度見直されているようだが、値上げになっていくのではないかと。市民負担の少ない行革を望みたい。

事務局

内閣府の行政の民営化は戸籍交付を含む定例的なもので、1階窓口が大半です。

苫小牧市・旭川市は12月にスタートするようで、道外の市町村でも進んでいます。

民間委託が進んでいるところには「トップランナー方式」で交付税措置もなされているようです。

委員B

委託先は地元の業者なのか。

事務局

（規模的に）市内には業者がおりません。すでに市外から数社が説明に来ています。

どの様な業務が移行できるのか検討することになります。

委員C

スリムにしていきたいというのは分かるが、前向きでないアウトソーシングは町のためにはならない。民間だから出来ることを大切に考えることも必要だ。

学生時代に大学が法人化となった。学校経営に振り回され誰も良い思いをしていなかった苦い思い出がある。前向きな改善計画とすべきだ。

事務局

一般的にはコスト節減が根本にあります。一方では地元の雇用拡大や窓口サービスの向上に繋がっているという話も伺っています。

職員育成の観点からは、今は市職員採用試験応募者も減少傾向で、全体を見渡せる総合職の育成が重要と考えています。

## 委員B

コンビニの活用はどうか。

## 事務局

住民票や印鑑登録証明書などについてコンビニ交付の検討を進めています。

## 委員長

わざわざ市役所に来なくても出来るようになることは、経営者側から考えてもいいことだ。

## 委員D

他の委員さんも話されている通り、入りが増える改革が少ないと思う。現在職場では人事の立場に居るが、例えば奨学金制度とか地元の企業に就職できるような、人が定着する種蒔きをした方が良くと思う。

## 委員長

企画力のある人材を育てることが大切。たとえば奨学金制度を設けて数年間市内の企業で働くと償還義務を免除して借りた奨学金はその企業が払うしくみなど。

伊達の地元雇用に繋げ、地域間競争にも勝つ必要がある。

投資的な案件を増やすことが必要で、事務局の中で盛り上げて創ってもらいたい。

今回の実施計画案は、投資的な案件、前向きなものを委員会として創りたいということを経営者側として承認することとしたい。

～ 他委員も全員同意 ～

## 委員長

他に意見等なければ、フリートーキングとします。

- ◆ 公用車についても、地元の整備業者と自動車販売店が組めば要望に沿った貸出しが可能となるのではないかと
- ◆ 街灯のLED化は、ランニングコストも安くなるし交換回数も減るし非常に効果的にはいいが、イニシャルコストも含めた費用対効果の見極めが重要。
- ◆ 商工会議所ではホテル誘致に動いていたが、結局採算が取れないということで断念したと聞いている。洞爺湖温泉もあるが、今は温泉に入って景色を観るだけでは利用者は満足しない。ブランド化を図るなど進化させる必要がある。
- ◆ 削るだけの行革ではなく、投資的なものを含ませたい。今はインバウンドの受け入れが最も効果的と思う。今の伊達はインバウンドが少なく、これが大きなポイントである。
- ◆ 飲食店はあるけれど、何か特色を。食の上乗せが必要。